

～ 木の実・鳥・虫 森の秋を楽しもう ～ 相生山の四季を歩く会 2017.10.8

今月は……

1. 森のさまざまな生きものたちからの秋の発信を受け取ろう。
2. 紅葉する樹木、秋の花、果実の変化を見ておこよう。
3. 昆虫は大先輩！
4. ツクシハギ再調査。
5. ヌルデに注目。虫こぶの不思議。
6. さわやか秋のウォーキング前編。

秋の草&木 コース順に				(10/5下見)	
No.	標準和名	漢字表記	種	ポイント	メモ 果実熟色など
1	アケビ	木通	アケビ		紫
2	クサギ	臭木	ソ	染料:天青	青
3	ウメモドキ	梅擬	モチノキ		赤 雌雄異株
4	ササクサ	笹草	イネ	くつきむし	
5	コナラ	小櫨	ブナ	どんぐり	
6	シャヤンホ	小小坊	ツツジ		黒紫
7	モチノキ	鶉の木	モチノキ		赤 雌雄異株
8	ソヨゴ	冬青	モチノキ		赤 雌雄異株
9	ネジキ	捻木	ツツジ		
10	ヤブミョウガ	藪茗荷	ツクサ	種子	黒
11	アオハダ	青肌	モチノキ		赤 雌雄異株
12	アベマキ	楢	ブナ	どんぐり	
13	ガマズミ	莢迷	レンブクウ	類似あり	赤
14	ズミ	酢実	バラ		黄
15	ノイバラ	野茨	バラ		橙
16	ノブドウ	野葡萄	ブドウ	食不可	紫
17	エノキ	榎	アサ		黒
18	ムクノキ	棕	アサ		黒
19	ツルウメモドキ	蔓梅擬	ニシキギ	類似あり	黄 雌雄異株
20	ヤマウルシ	山漆	ウルシ	かぶれ	果皮に毛 雌雄異株
21	ヤマハゼ	山櫨	ウルシ	かぶれ	葉・柄に密毛 雌雄異株
22	ハゼノキ	櫨の木	ウルシ		毛ナシ 雌雄異株
23	ナツハゼ	夏櫨	ツツジ		紫
24	イヌサンショウ	犬山椒	ミカン	シートハンク	黒 雌雄異株
25	サワフタギ	沢蓋木	ハイノキ		青

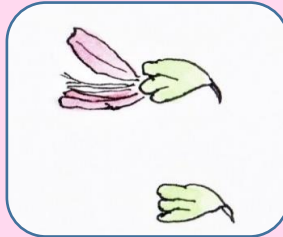
ハギの同定に再挑戦：

愛知のハギの8割以上はツクシハギ。
ツクシハギの花序は葉群より超出する。
萼裂片は円頭～鈍頭。葉裏面に短毛。

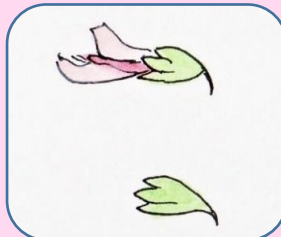
ヤマハギの花序は葉より長い。
萼裂辺は円頭～鋭頭。葉裏面に短毛。

マルバハギの花序は葉より短い。
萼裂片は針状に尖る。
葉先は凹む。枝に伏毛。

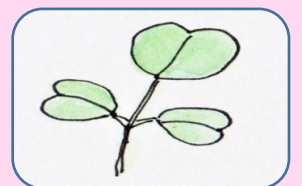
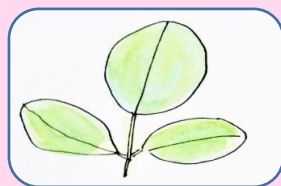
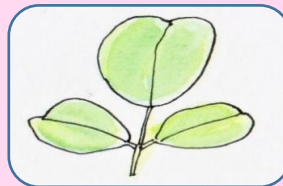
ツクシハギ(筑紫萩)



ヤマハギ(山萩)



マルバハギ(丸葉萩)



ヌルデ(白膠木)の虫こぶ



ヌルデシロアブラムシの生活史

<http://www2.chiba-muse.or.jp/>より

- ①春、孵化した1匹の♀「幹母」が、若いヌルデの葉を刺し「虫こぶ形成物質」を注入。
- ②虫こぶは幹母を包み込んで成長。10月ころ最大になる。
- ③中で無性生殖で子(♀のみ)を産む。この子がまた無性生殖で子(♀のみ)を産み、秋までに3～4世代を繰り返す。
- ④子は翅のない「無翅型」だが、秋になると「有翅型」が出現。
- ⑤ヌルデの葉が枯れるころになると、虫こぶが硬くなり穴が開く。
- ⑥穴から有翅虫が飛び出し、二次寄主であるコケ植物(チョウチンゴケ類)に移動する。
- ⑦そこで無性生殖で産まれた幼虫が越冬、翌春に有翅虫となって再びヌルデに移動。
- ⑧無性生殖で♀♂の幼虫を産む。初めて♂の虫が出現。
- ⑨♀♂が有性生殖を行って卵を産み、その卵から新たな「幹母」が生まれる。

五倍子(ごばいし、ふし) = 有翅虫が出た後の虫こぶ

- ・乾燥させて粉にしたものが「五倍子粉(ふしこ)」
- タンニンを豊富に含む。
- ・酢酸等に鉄を溶かした「鉄漿(かね)」と混ぜると黒い染料になり、「お歯黒」の材料とした。

次回は
11月 12日(日)
テーマ
黄葉に染まって
さあ 遠足に
出かけよう！！

連絡先(古川)
tell/fax: 052-821-6463
ケイタイ: 080-5124-6463
e-mail: viva_forest@yahoo.co.jp
ホームページ: ラブリーアース→検索
ブログ: 相生山からのメッセージ